

# 九条の会

2007・6・20

第 89 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303  
TEL 03-3221-5075  
FAX 03-3221-5076

## 第 2 回全国交流集會に全国の知恵を

### 運営についてのアイデアを募集

「九条の会」が6月11日に発足させた第2回全国交流集會の成功をめざす実行委員会では、本年の交流集會開催にあたって、午後の分散会の持ち方（分散会にいくつかの共通テーマを設定することや、青年などいくつかの分科会をもったらどうか）、発言者の準備（今年はA4判1枚の資料を提出してもらったが、事前に発言要旨を提出してもらってはどうかなど）、交流集會の持ち方についていくつかの意見が出されました。

「九条の会」事務局では、それらの検討をすすめています。しかし、昨年、全国から交流集會に参加した方の意見、さらには全国各地でおこなわれている県・地域レベルの交流会で生かされたアイデアなど、全国の皆さんからも提案を募集し、次回以降の実行委員会で検討し、交流集會をさらに豊かなものにしていきたいと考えています。

メール、ファックス、お手紙等で積極的にご意見をお寄せください。

なお、第2回実行委員会は8月27日に開催します。

### 県医療生協の中に31の「会」

「医療生協かながわ9条の会」の中には、生協内、組合員同士、職員、生協の活動地域などにさまざまな形で31の9条の会とその準備会がつくられています。6月9日、それらの9条の会が集まってお互いの活動を交流しました。おもなものを紹介します。

〔戸塚病院医事課9条の会〕 06年7月、医事課主任が発案してよびかけ。毎月9の日に9条をデザインしたTシャツ（3種類の色、900円）を着用して業務についている。院内の9条フレンド40人が購入。院長をはじめ医師3人も白衣のかわりに着用。デザインのリニューアルを現在募集中。

〔中田ブロック9条の会〕 07年2月、4回の準備会を経て、中田診療所と地域の組合員で結成。結成総会は、中田診療所の待合室でおこない83人が参加。今野宏（元横浜国大）の講演と池田敏美（元東京フィル）のバイオリン演奏など。毎年「平和を語るつどい」の開催と、当面組合員10%の加入を目指すことを申し合わせ。

〔戸塚診療所9条の会〕 5・26「9条の会戸塚連絡センター」の「郡山総一郎が

語る 映画と講演の夕べ」の取組みと並行して、準備。07年5月発足。昼休みに職員によびかけ、院内アピール、9の日行動案募集などを提案。

**〔平塚診療所9条の会〕** 06年4月、3回の準備会を経て発足、毎月9の日に待合室行動（患者さんへの署名訴えや歌など）や「押しかけ班会」、07年1周年記念学習会（岡村三穂弁護士が国民投票法案について講演）。9条ワッペンと「9条の木」タペストリーを待合室に展示したり、9条ワッペンを大きくして、裏に院長のメッセージカードを入れ待合室行動で患者さんに配布している。

**〔泉ブロック9条の会〕** 06年4月に戦争体験を語る会を経て、いずみ診療所職員と地域の組合員30人で発足。毎月第2火曜日駅頭宣伝（チラシ配りも）。07年に貸切バスで、靖国神社・遊就館、浅草散策をおこない48人が参加。

## キリスト者が「九条の会」

**〔岩手〕** 5月23日、岩手県で23氏のおびかけによる「キリスト者九条の会」の発会式が開かれ、60人が参加しました。

呼びかけ人を代表して、85歳の大木英二氏（松園教会引退牧師）が、「信者として憲法9条をともに学び、『九条の会』と連帯して、行動する時期だ」とあいさつしました。また、英語で憲法9条を教えている大沢利成氏（岩手大学名誉教授）が「安倍首相の『美しい国づくり』を問う」をテーマに講演しました。

つづいて5人のパネリストが、「9条とわたし」のタイトルでカトリック、プロテスタントの違いを超え、信仰と憲法9条を守ろうと発言しました。

## 改憲版「9条の会」設置？

自民党は6月15日午前、党本部で党憲法調査会を格上げした憲法審議会を開きました。会長の中山太郎氏はあいさつで、「有権者、支援者に新しい国の造り手になってもらうために国民投票法の会（衆院の）小選挙区ごとにつくる必要がある」と述べ、憲法改正に向けた国民運動を盛り上げる組織を設置すべきだとの考えを示しました。「作家の大江健三郎氏らが結成し、改憲反対の運動を展開している『9条の会』に対抗する狙いもある」（時事通信）とのこと。

なお、自民党憲法審議会では05年秋にまとめた党の「新憲法草案」をより自民党色を強めたものに見直すべきとの意見が出ており、年内をめどに論点を整理することにしています。

## 天台宗大僧正が特別講演

**〔新潟〕** 小千谷市で5月24日、「おぢや九条の会結成一周年、憲法9条を守る集い」が開かれ、130人が参加しました。

集いでは、小千谷市出身の天台宗大僧正・延暦寺叡山学園長の堀沢祖門氏が「戦争放棄は日本人の務め」と題して特別講演しました。堀沢氏は、被爆の悲劇を世界に訴えることができる日本人は、今こそ人類的視野で大きくものごとを考えるべきだと強調するとともに、「仏教者は戦争反対を唱えることができず、結果として戦争に協力した忌まわしい事実を忘れるべきではない」と述べました。